

新ビジョン 総務企画局職員提言

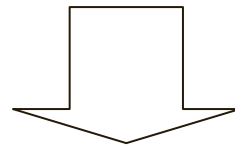


子どもから高齢者まで、あらゆる市民に
「伝わる」わかりやすいものをめざして

チームメンバー 9名

行政部	情報システム課	桑山	人事部	人事課	村岡
	行政改革課	堤		職員共済課	島田
企画調整部		吉岡	職員研修センター		作本
	統計調査課	竹内	東京事務所		高土 (リーダー)
国際部		菊地			

福岡市は、
「活気がある街」「成長している街」といった
評価をいただいている！

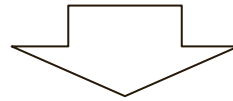


それって、今後も続くのだろうか？

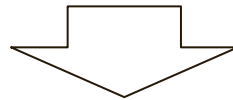
周りを見回すと、

日本の人口は減少傾向、少子化、超高齢化

福岡県の人口も
減少傾向・・・



- 超高齢社会に伴うコスト増
- 生産人口の減少による税収減のリスク



- 行政サービス低下のリスク
- まちの魅力低下のリスク

活気がなくなる・・・

成長がのぞめなくなる・・・

25年後の福岡市がこのようなまちにならないようにしたい。
では、福岡市の人口は？

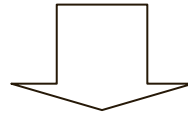
福岡市の人口は、現在も増加傾向ではあるが、将来的には減少傾向になることが想定されている。

ということで、

福岡市が元気を維持し続けるには、
今後も、人口の維持をし続けることが重要！！

特に生産人口！

できれば増加！



しかし、日本全体の人口は減少傾向であり、
世界に目を向けていくことが不可欠。



定住人口・交流人口
の増加！

- ・ 福岡に住み、訪れる人を増やしたい
- ・ 日本にとどまらず世界の人との交流を増やしたい



25年後の福岡市は、

世界をひきつけるまち
“Fukuoka”

であってほしい

「世界をひきつけるまち」とは！？

- 住んでいる人と訪れる人との様々な交流により、新しい発見や刺激がうまれるまち
- 都市の便利さと自然がほどよく調和しており、市民が笑顔で暮らしているまち

一方、福岡市の現状は？（その1）

- ・ 住みやすさについては、市民の満足度が高く、国内外からの評価も高い。

◎市民意識調査（2010年）：市民の9割以上が住みやすいと回答
◎英国の雑誌モノクル「世界で最も住みやすい都市」：14位（2010年）
◎国連ハビタットが、持続可能な成長を実現する都市モデルと評価（2011年）

- ・ 食べものが安くておいしい、祭りが盛ん、ファッション関係の店が多いなど、市民、来街者のいずれにも一定の集客を見込めるポテンシャルがある。

◎市民意識調査（2010年）
：市民の8割以上が「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」に満足している
◎760年の歴史と伝統を誇る博多祇園山笠
◎ゴールデンウィークに日本一の人出で賑わう博多どんたく港まつり

一方、福岡市の現状は？（その2）

- ・若者や女性の割合は高いが、その労働力が十分活かされておらず、就業機会も少ない。

◎市民意識調査（2010年）：47.8%の市民が、就業機会の少なさに不満と回答

- ・アジアとの人的交流は進んでいるものの、経済的交流はまだ十分ではない。

◎地理的にアジアに近く、アジアマンス・アジア美術館等のアジア政策を積極的に展開してきた歴史がある。

◎入国外国人数（福岡空港・博多港）：H12年 約34万人 → H22年 約76万人

◎経済産業省調査（2009年度）：外資系企業数 全国2,796社

福岡市内の外資系企業の事業所数 62

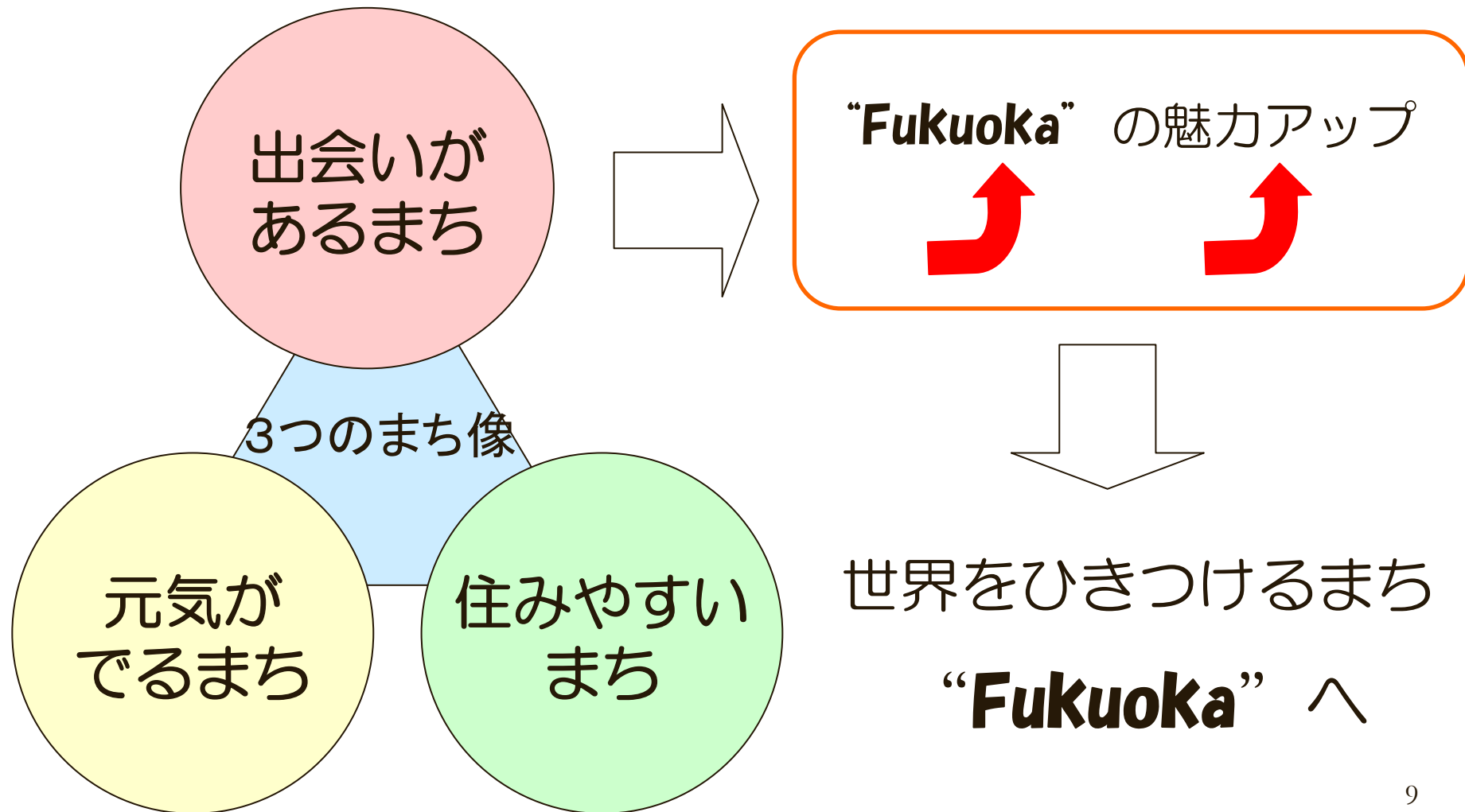
◎九州経済調査協会調査：福岡市に本社を置く企業のアジア進出状況

：H12年 122件 → H21年 139件

- ・福岡市は、世界的にはまだまだ知られていない。

どうすれば、世界をひきつけるまちになれるのか？

世界をひきつけるまち “Fukuoka” 実現に向けて



「出会いがあるまち」とは、どんなまち！？

住んでいる人や訪れる人が様々なことに出会い、新しい発見や再発見、刺激が生まれ、また訪れたい、今後も住み続けたいと思うまち

～どんな出会い？～

- ・ 男女、国籍問わず、多様な人との出会い
- ・ 新たなビジネスチャンスとの出会い
- ・ 日本・福岡の歴史や文化との出会い
(ラーメン、もつ鍋、水炊きなどの食文化、博多織、博多人形などの伝統文化、山笠、どんたくなどの祭り、ファッション、ゲームなど)
- ・ 海外、特にアジアの文化との出会い
(アジアマンスなど)

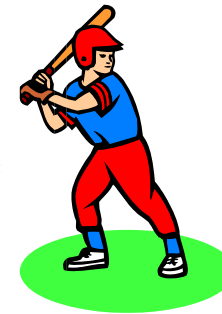


「元気がでるまち」とは、どんなまち！？

福岡を訪れることで、元気をもらい、訪れてよかったと思い、住んでいる人も、福岡に住んでいてよかったと笑顔で暮らせるまち

具体的には、

- ・ 毎日何かしらのプロスポーツが見れるまち
- ・ 祭り、イベントが多く賑やかなまち
- ・ 老若男女が笑顔でいるまち
- ・ 子どもたちがよく学び、よく遊び、よく食べるまち
- ・ 若い人が希望をもち、新しいことにチャレンジしているまち



「住みやすいまち」とは、どんなまち！？

福岡市の住みやすさという強みを最大限に活かし、住みやすいまちであり続けることで、住んでみたいと思ひ、今後も住み続けたいと思うまち

具体的には、

- ・都市の便利さと自然がほどよく調和しているまち
- ・よりコンパクトなまち
- ・食べ物がおいしいまち
- ・緑が多く、海が身近に感じられるまち
- ・犯罪が少ないまち
- ・働き口があるまち
- ・いろいろな言葉が通じるまち



世界をひきつけるまち “Fukuoka”

出会いがあるまち

元気ができるまち

住みやすいまち

“Fukuoka” を知ってもらう
“Fukuoka” の強みを活かす

市民主体で取り組む
“Fukuoka” の潜在的な力をひきだす

実現に向けた方向性、取り組みの提案！

① 出会いがあるまちの実現に向けて

② 元気ができるまちの実現に向けて

③ 住みやすいまちであり続けるために

④ “Fukuoka” を知ってもらうために

① 出合いがあるまちの実現に向けて

○ アジアタウンの設置

- ・福岡に行けばアジアが感じられるというイメージの象徴として、アジア諸国の文化や食を体験できる店があり、アジア諸国の人々との交流ができるアジアタウンを海の近くにつくる

○ 人材が集まるまちづくり

- ・アジア太平洋こども会議、福岡アジア文化賞、留学生の同窓会等、これまで培ってきた人的ネットワークを活用し、ビジネスへ展開する仕組みをつくる
「アジアビジネス応援団」の設立
福岡の企業の海外進出、外国企業の福岡進出へのサポート体制強化（成功例、失敗例等の情報提供・アドバイス）や起業しやすい環境整備を行う
- ・不足している理系の就職先を確保するため、産学官連携による研究所を設立し、優秀な人材を増やす

○ いろんな言葉が通じるまちづくり

- ・校区ごとに担当国を決めて各国との交流を促進する
- ・多言語教育、異文化理解（小学校から市職員も。簡単なあいさつは可能。）を進める

○ 国際的な出合いの場づくり

- ・外国人を招き、スポーツ大会や語学サークルなど国際的な出合いの場を設ける

② 元気がでるまちの実現に向けて

○ プロスポーツの活性化

- ・福岡におけるプロスポーツゲーム開催を増やす
- ・市民のチームに対する愛着心を高める（取組強化）

○ スポーツ国際大会の開催

- ・世界水泳のような国際大会を継続して誘致する
- ・障がい者のスポーツ大会を誘致する

○ 集客施設（観光地）の充実

- ・海を活かしたリゾート施設を誘致する
- ・子どもが楽しめる施設を誘致する（キッザニアなど）

○ 健康づくり

- ・食事や運動について関心を高める取組を行う
- ・お年寄りが楽しめる施設、場をつくる

○ 雇用の場づくり

- ・福岡にある支店を本社化する
- ・世界的企業を誘致する
- ・中小企業と学生のマッチングを支援する

○ 福岡のビューティー産業のブランド化

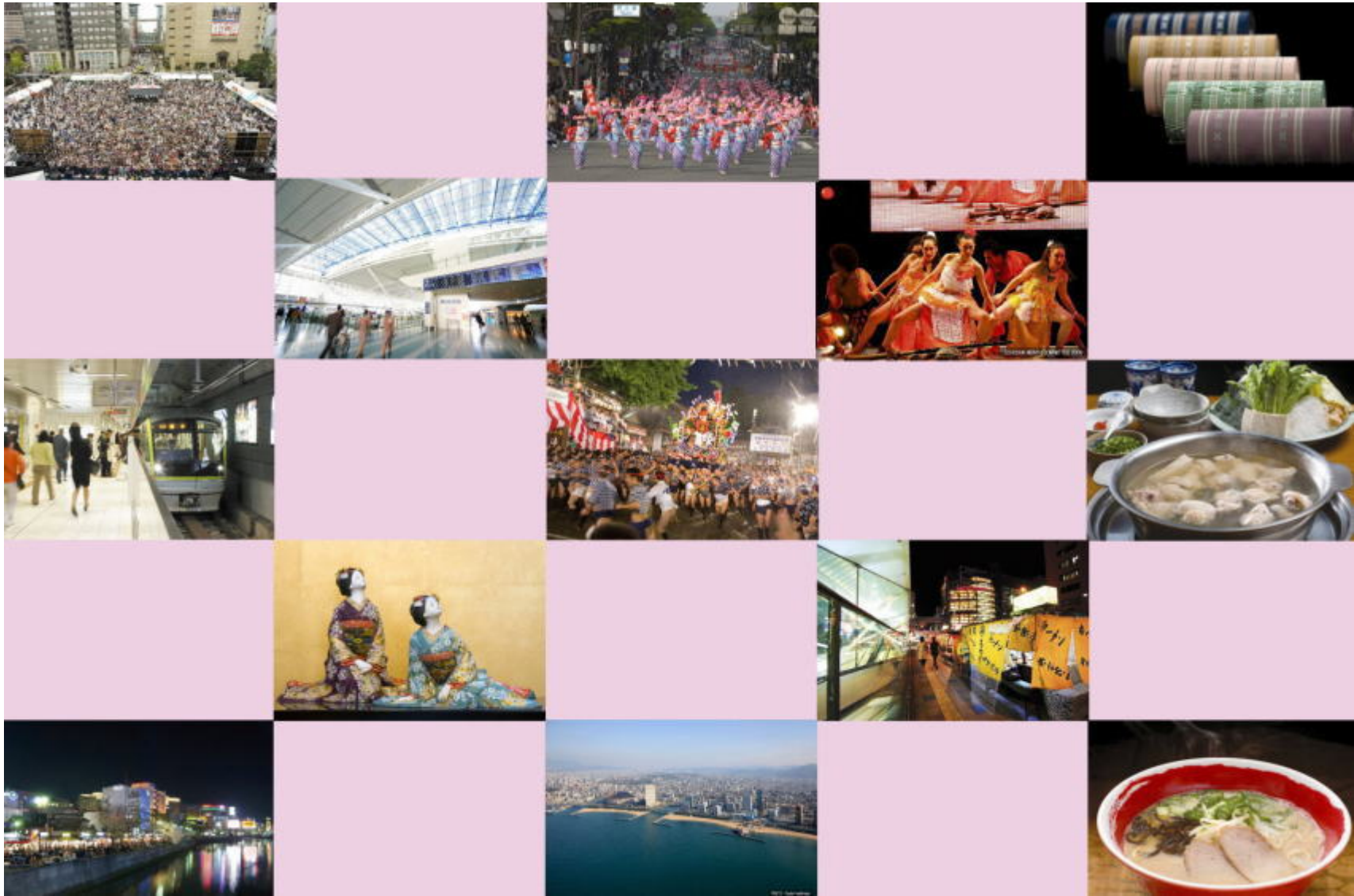
- ・ショッピングとネイル、美容室、エステを組み合わせた美容ツアー「きれいになる」プロジェクトを推進する（女性の活躍の場づくりにも）

③ 住みやすいまちであり続けるために

- 日本の支店経済からアジア・世界の支店経済へ
 - ・アジアへの近さと住みやすさを活かし、“Fukuoka”に支店を誘致する
- 芸術・スポーツなどで地域に個性をつくる
 - ・〇〇地区は、音楽スタジオ、ライブハウス、楽器店等を集中する
 - ・△△地区は、球技ができる公園、おしゃれなスポーツ用品店等を集中する
- より身近に海を感じられるようなまちづくり
 - ・都心部に人工海浜をつくり、市民・観光客の憩いの場にする
- 子育てしやすい環境づくり
 - ・様々な働き方に対応するために、全ての認可保育園で病児保育・夜間保育・休日保育を実施する。
 - ・天神地区の空きオフィス等を活用し、働く女性のための天神保育園を開設する。
- 高齢者の生きがいづくり
 - ・緑を増やし、お年寄りの生きがい、健康づくりに役立つよう、空地、耕作放棄地の市民農園化を行う
- 安全・安心なまちづくり
 - ・防犯対策の啓発活動など現在の取組みを引き続き実施する

④ “Fukuoka” を知ってもらうために

- 福岡ブランド（食文化、伝統文化、祭りなど）の情報発信を世界中の観光業界、国や自治体、マスコミに働きかけていくことで“Fukuoka”を知ってもらう
- 福岡市だけでなく観光資源が豊富な九州全域と一体的なPRを進めることで“Fukuoka”を知ってもらう
- 世界的なイベントを開催することで“Fukuoka”を知ってもらう
 - ・ 福岡アジアコレクション（FACo） in 北京、上海、バンコクなど
 - ・ スポーツ大会など国際イベントを定期的に誘致する
- 直行便を通して“Fukuoka”を知ってもらう
 - ・ 博多港、福岡空港 ～ 各都市
- 福岡支店経験者が本店に戻っても福岡の良さをPRすることで“Fukuoka”を知ってもらう
 - ・ 支店経済を逆手にとり、福岡を離れても、福岡のPR隊になってもらう
- 各国の著名人を活用してPRすることで“Fukuoka”を知ってもらう
- 市民・企業も世界に進出することで“Fukuoka”を知ってもらう
 - ・ 市民1人1人の活動が福岡のPRに！



25年後の福岡市が世界を惹きつけてやまないまちでありますように・・・